

令和7年度 学校評価アンケート結果報告

保護者の声から見る「信頼・成長・未来への提言」

対象：西麻植小学校 保護者
実施時期：2026年1月

3つの重要な示唆



圧倒的な安心感

Q6（安全指導）やQ7（個人の尊重）において、「そう思う」「だいたいそう思う」が大多数を占める。保護者は学校を安全で信頼できる場所として深く認識している。



家庭学習・生活習慣の課題

学校生活への満足度（Q16）は高い一方、家庭での学習習慣（Q15）や生活リズム（Q12）の定着にはばらつきが見られる。学校と家庭の連携強化が鍵となる領域。



DXへの具体的な要望

自由記述において、欠席・遅刻連絡のデジタル化（電話からアプリへの移行）を求める具体的な要望が挙がっている。

アンケート実施概要

44

回答者数（名）

2026/1/13
- 1/20

実施期間

全20問
+
自由記述

構成



そう思う (4)



だいたいそう思う (3)



あまりそう思わない (2)



そう思わない (1)

盤石な信頼関係と安全管理

Q6 安全指導

学校は、交通、不審者や自然災害時の対応等、安全について、児童に適切な指導を行っている。

5%

95%

Q7 個人の尊重

一人一人の子どもが大切にされ、認められる学校になっている。

93%

Q11 相談対応

学校は、子どもが相談したことや、保護者の相談に、適切に応じてくれる。

95%

Insight: 「そう思う」「だいたいそう思う」が回答の大半を占めており、学校の安全管理と個別の対応に対する保護者の満足度は非常に高い。

子どもたちの「学校への肯定感」



「学校へ行くのが楽しい」

「毎日嫌がる事なく学校へ行って、楽しかったーと笑顔で帰って来る、長期休みに入ると先生やお友達に早く会いたい！と言っているのが答えかなと思っています。」

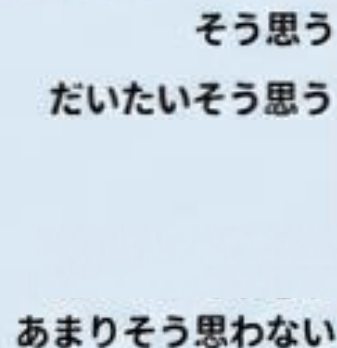
保護者アンケート 自由記述より

関連データ Q19：「子どもには、友だちに対する思いやりの心が育っている」も高評価

課題：生活リズムと家庭学習の定着

学校側の取り組み（Q9）

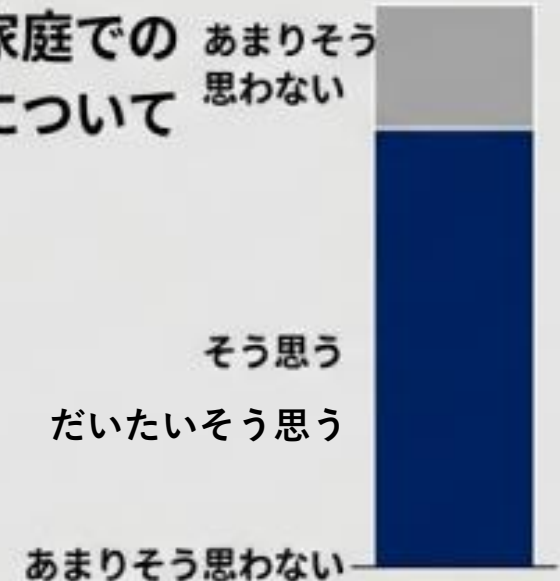
「学校は『家庭学習の手引き』の配布等を通して、家庭学習を推進している」



GAP

家庭での定着度（Q15）

「子どもは、家庭での学習習慣が身についている」



Q12（早寝早起き）等の生活習慣においても、「あまりそう思わない」の回答が散見される。学校の指導は認知されているが、家庭での実践には個人差が生じている。

保護者の声：西麻植小学校の「温かさ」

「西麻植小学校ほど、保護者や子どもに寄り添い、親切に対応してくださる学校は他にないと感じております。」

「先生方には、日頃より熱心で丁寧、そして温かいご指導をいただき、心より感謝しております。」

「のびのびとした環境の中で六年間を過ごすことができました。」

寄り添い 親切
温かい指導
のびのびとした環境

業務改善の提案：連絡手段のデジタル化

現状：電話連絡



- ・ 早朝・深夜の連絡が困難
- ・ 先生が来るまで繋がらない



提案：アプリ活用 (マチコミ等)



- ・ 24時間いつでも連絡可能
- ・ 保護者・教員の負担軽減

「中学校みたいにマチコミから欠席や遅刻の連絡をできるようにして欲しい。時間関係なく夜中や早朝にできるし...検討お願いします」

分析のまとめ：信頼を基盤とした連携へ

改善：環境のアップデート

連絡手段のデジタル化
(利便性と効率化)

連携：生活習慣の定着

学校の指導 × 家庭の実践
(ギャップの解消)

基盤：高水準の満足度

安全面・情緒面での深い信頼関係

- 圧倒的な安心感を維持しつつ...
- 「早寝早起き」「家庭学習」などの生活習慣定着へ注力
- 保護者の利便性と教員の業務効率化を両立させる施策の検討

**2026年3月より、
マチコミでの欠席連絡
スタート！**

これからも、地域と共に。

「先生やお友達に早く会いたい」という子どもたちの声こそが、
西麻植小学校の教育の成果です。
頂いたご意見を真摯に受け止め、更なる学校運営の改善に努めます。